

市民建産常任委員会報告書

令和 4 年 8 月 30 日

委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和 4 年 7 月 22 日、7 月 27 日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

建設産業部

商工政策課

商業観光係から、消費生活センター、JR 古賀駅西口エリア活性化プロジェクト、第 37 回まつり古賀の開催予定の報告がありました。燃料費高騰対策運送事業者等支援金について、市商工会の会報誌にチラシを同封したり、市公式ホームページや広報紙で紹介したりすることで周知を図った。また、福岡県トラック協会や九州運輸局から周知協力を得ることもできたとの報告がありました。

事業者支援係から、無料職業紹介所、ふるさと応援寄附、経営支援雇用奨励金の報告がありました。ふるさと納税自動販売機について、7 月末設置予定としていたが、現在部品調達が困難な状況であるため、設置時期は未定との報告がありました。

委員から、JR 古賀駅西口エリア活性化プロジェクトについて、中心市街地空き店舗改修補助金の応募は現時点では何件で、最終的に何件採択予定か、との問いに、現在、応募は 0 件で、第 1 回公募の締切りが 8 月 26 日。そこで応募がない場合は第 2 回公募を行う予定。1 件当たり最大 100 万円の 5 件の採択を考えているとのこと。また、どのような業種を誘致したいと考えているのか、との問いに、市民へのアンケート調査の中で飲食店が少ないとの声があり、飲食店や総菜店などを誘致していきたいとのこと。

ふるさと応援寄附は年々寄附件数や寄附額が減少しているが対策は、との問いに、令和 2 年度寄附額の 7 億 5,000 万円を目標に、新たな返礼品の開拓や返礼品をサイト上でどのように磨き上げて発信していくかを意識しながら取り組んでいくとのこと。

都市整備課・古賀駅周辺開発推進室

都市計画係から、令和 4 年度古賀市都市計画基礎調査等業務委託、地区計画の報告がありました。

開発指導係から、古賀市空家等対策計画の改定、古賀市木造戸建住宅耐震改修工事等補助金交付要綱の一部改正の報告がありました。

公園・緑地係から、入札結果、トイレの改修等の報告がありました。

古賀駅周辺開発推進室から、契約状況、古賀駅東口のワークショップの報告がありました。

委員から、空き家の持ち主や管理者の把握ができていれば安心だが、管理の状況は把握しているのか、との問いに、市で全ての空き家の状況を把握してはいないが、近隣から相談があった空き家については、空家特措法に基づき調査し、持ち主に働きかけ、問題が起きた場合は管理者等を探し出し、対応していくとのこと。

千鳥ヶ池のヒシ取りは、池の中の生物に影響等が生じる可能性もあるが配慮は考えている

か、との問いに、ヒシ取り箇所³の 2 を除去の範囲とし 3 分の 1 を残し、極力生物への影響が生じないようにしていくとのこと。

JR 古賀駅東口周辺地区における道路の予備設計場所はどこか、また、どのような設計を考えているのか、との問いに、予備設計の道路は、開発で予定しているループ状道路以外の周辺の道路を検討しており、都市計画道路の花見栗原線、屋敷五楽線辺りは、開発によって交通量が増える可能性があることから、この点を考慮した道路設計を行いたい。また、JR 古賀駅東口の開発に影響がある道路についても今回の設計で検討していきたいとのこと。

コスモス館の駐車場等の変更や改良の話が出ているが、との問いに、大内田地区に新たにスケートパークを設置する方向で開発者と協議を進めており、駐車場の拡張エリアは、現スケートパークとその横の畑を最有力候補として検討しているとのこと。

建設課

土木係から、主要な事業の進捗の報告がありました。西鉄宮地岳線跡地について、中川区と工事施工区間について協議しており、古賀北区への工事説明の後に区間を決定し、発注したいとの報告がありました。

管理係から、令和 4 年度県事業の報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗の報告がありました。

その他として、浜大塚線高架下の一部について、市内の不動産業者の道路占用により、8 月 1 日から駐車場として利用される予定となっている。今回、駐車場となる箇所以外の高架下についても、今後同一業者により駐車場として利用される予定との報告がありました。

委員から、県事業工事予定箇所である筑紫野古賀線の進捗状況は、との問いに、現在新宮町境から古賀物流団地までの区間の工事を行っており、今年度中に完成予定とのこと。

上下水道課

総務・上水道管理係から、水道事業会計決算、「水道まつり」の報告がありました。

上水道係、下水道係から、令和 4 年度の工事箇所の報告がありました。

下水道管理係から、下水道事業会計決算、古賀市下水道事業経営戦略（公共下水道事業、農業集落排水事業）の報告がありました。

その他として、現在の水源状況について、主な水源である福岡地区水道企業団のダムの総合貯水率が 85.7%であることなどから、安定供給ができているとの報告がありました。また、10 月 22 日にリーパスプラザこがにおいて、水道・下水道のイベントを開催予定との報告がありました。

委員から、古賀市下水道事業経営戦略における「今後の投資についての考え方・検討状況」の部分に、広域化・共同化・最適化を検討とあるが、近隣市町村を想定しているのか、との問いに、広域化の定義の中には事業の広域化が含まれており、公共下水道事業に農業集落排水を編入するなど、効率化や事業の統合について検討し、取り組んでいくとのこと。

農林振興課

農林振興係から、朝どりこがスイーツコーン祭・農家直売！軽トラ市の開催、朝どりこがスイーツコーンの注文販売状況の報告がありました。

農政係から、農地パトロールの実施、令和 4 年度多面的機能支払交付金、地域おこし協力隊の募集（ふるさとの味伝承事業）の報告がありました。

委員から、朝どりこがスイーツコーン祭・農家直売！軽トラ市の開催日は非常に暑く、並んだ人は大変だったと思うが、テント等の準備は、との問いに、当日は風が強く、テントを立てるか迷った。今後の課題と考えているとのこと。

市民部

環境課

環境整備係から、地球温暖化対策事業、生物多様性古賀戦略の推進、市民向け環境講座、飼い主のいない猫に関する取組の報告がありました。

資源循環推進係から、令和 3 年度「ごみ処理量」と「資源化率」、分別収集困りごと講座、ラブアース・クリーンアップ、環境展の報告がありました。

海津木苑から、処理状況、海津木苑施設等啓発の報告がありました。令和 4 年度汚泥再生処理センター整備事業について、工事の進捗率は 6 月末現在で 21.7%との報告がありました。

その他として、環境基本計画及び温暖化対策実行計画を策定する中で、国の補助金を申請したが、7 月 19 日に不採択の通知があった。審査委員会による総評が公表されており、それによれば、再エネの導入目標など具体的で意欲的な計画を考えている申請が多く、高評価の申請であっても不採択にせざるを得なかったと表記されていたとの報告がありました。

委員から、市の事務事業に係るエネルギー使用量等速報値について、新型コロナの影響等が大きいとのことだが、令和 3 年度の速報値でエネルギー使用量が上がった理由は、との問いに、令和 2 年度は新型コロナの影響で、施設の閉館や休校などがあり、その減少分で令和 3 年度は増えている。また小中学校のエアコン導入が始まったことも、電気量が増えた要因と考えているとのこと。

令和 4 年度のゼロカーボンシティ宣言の取組は、との問いに、令和 4 年度は具体的な施策や取組を考え、今ある取組を充実させていきたい。特に「うちエコ診断」等は今年度から地域に対し 3 会場分の予算を確保し、地域に出向いての診断も進めており、地道な取組を継続し、令和 4、5 年度の計画の中で具体的な施策を新たに考えていきたいとのこと。

温室効果ガスの排出量を正確に計ることは非常に難しいと思うが、電力事業者が示している排出係数は何を根拠に算出しているのか、との問いに、排出係数は電力を生成する過程の中で排出される炭素の量等を考慮して、電力会社ごとに設定しているとのこと。

夏の生きもの観察会が、古賀海岸で実施されるとのことで、会場が水難事故や離岸流等の発生しやすい場所に近いが、子どもたちにライフジャケット着用を考えているのか、との問いに、前回同様に今回もライフジャケットを着用し、浅瀬しか入れない対策等を取るとのこと。

国の補助金が不採択になったことで、令和 5 年度からの環境基本計画への影響は、との問いに、スケジュールに若干の遅れは出るが、予定どおり環境審議会等に諮り、計画の策定を行っていく。また、財源が変わるため、財政課とも協議を進めていきたいとのこと。

市民国保課

市民係から、令和 4 年 6 月末の総人口、外国人国籍別人口、個人番号カード交付枚数・コンビニ交付サービス利用実績、18 歳以下の子どもの人口の報告がありました。

国保係から、国民健康保険世帯数等の報告がありました。国民健康保険税当初賦課結果等について、均等割と平等割の金額を改定し、令和 4 年度の調定額は令和 3 年度比約 2%増額の 11 億 2,374 万 1,400 円となるとの報告がありました。

令和4年度から始まった未就学児の国保税均等割額の減額措置について、211世帯、未就学児の274人に対し、減額措置を実施したとの報告がありました。

年金・医療係から、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障がい者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数の集計表の報告がありました

委員から、個人番号カードの交付はマイナポイントが付与されるがどのような状況か、との問いに、6月30日からマイナポイント第2弾で、健康保険証や公金の受取口座にひもづけた人へのポイント付与が始まり、多くの方が来庁しているとのこと。

後期高齢者医療保険料賦課について、収入の額により窓口負担が2割になることを心配する人が多いが、との問いに、2割負担については一定の配慮措置があり、10月1日から3年間は1か月の窓口負担の増加額を3,000円までに抑えることができ、該当の人には払い戻すことになる。対象者には丁寧な説明を行っていくとのこと。

人権センター

人権教育・啓発係から、人権教育・啓発事業、人権相談事業、人権関係団体活動推進事業の報告がありました。

男女共同参画・多様性推進係から、男女共同参画啓発事業、女性の活躍推進事業、性的マイノリティ支援事業の報告がありました。

委員から、職員に人権のノウハウやファーストコンタクトに対するクレーム解消の方法などの研修を十分に行っているのか、との問いに、トラブルへの対処法等の具体的な研修はないが、トラブルの内容は個人的なことが多いことから、一つの案件として周知を図り、ファーストコンタクト等対処方法の課題を積み重ねながら学ぶという方法をとっているとのこと。

収納管理課

収納管理係から、令和3、4年度の市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の収納状況、令和4年度滞納処分状況の報告がありました。

委員から、国民健康保険税の収納率が前年度よりも下がっているのは、新型コロナの影響による失業や収入減が原因か、との問いに、差押え処分の件数が前年度より少なく、この影響で収納率が下がっているとのこと。

市税課

市税課から、市税の調定状況（現年課税分）の報告がありました。過去10年間の現年課税の調定の推移について、令和3年度の主な出来事として、令和2年度から継続して新型コロナに係る緊急事態宣言、まん延防止等重点措置発令、固定資産税の特例措置を挙げたとの報告がありました。

委員から、現年課税の調定の推移が、令和3年度の新型コロナの影響等による特例措置等で固定資産税が若干下がっているとのことだが、国からの交付金等の対応は、との問いに、令和3、4年度の固定資産税の評価据え置き等の制度については国からの交付金の措置はないが、中小企業の減収分については全額国から補填されているとのこと。

以上、議会閉会中の所管事務調査報告を終わります。